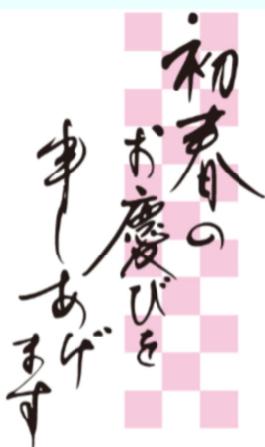




謹賀新年 今年もよろしくお願ひいたします



新年明けましておめでとうございます。

元旦は穏やかな天気に恵まれました。皆さんにおかれでは、年明けをいかがお過ごしだったでしょうか。

さて、今年の干支は「午(うま)」です。「馬」ではなく「午」と書きますが、この「午」の字は象形文字で、「杵(きね)」の形を表しているのだそうです。精米や餅つきの場面において、かつては必需の道具でした。杵によって臼の中にある穀物は殻を取り、粉となり、粘りを出します。

日々の教育活動を通して、生徒たちが「殻を破り」、「粘り強さ」

を発揮できるような一年になることを期待するとともに、全職員一丸となって使命と責任を果たしていきたいと考えております。本年も、本校の教育方針や教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。



8日(木)3学期スタート 始業式でした

校長講話は、特に3年生に向けて「卒業までにしておくべきこと」について話しました。概要は以下のとおりです。1・2年生に対しても、今後の高校生活の中で意識してほしいことです。

- 今まで、誰かが作ったスケジュールに乗っかっていれば何とかなった。卒業後は進学にせよ、就職にせよ、あるいは何もしない場合にせよ、自由度が上がるかわりに、その場の状況を踏まえて、自分で考え、何をするかを決定するという世界だ。
- 自由になると、よほど強い意志やこだわりがなければ、「何をしていいのかわからない」という状況になりがちだ。その時に「自分で納得して決める力」、言い換えると「自己決定力」がないと……周囲の意見に流されてしまう。
- 次のステージに進む前に、少しでも自己決定力を高めてみよう。まずは日常の小さなことから練習してみてはどうか。**3つのポイント**を挙げてみる。
- 一つ 「なんでもいい」という考え方をやめること。周囲に合わせるのではなく、一瞬でも自分の心に聞いて「これがいい」というものを選ぶこと。
- 二つ 「なぜ?」と自分に問いかけること。自分で「これがいい」と選ぶには、何らかの根拠が必要だ。「なんとなく」は禁止!自己決定権の放棄である。
- 三つ 「なぜ?」の答えが独りよがりになっていないか。かっこ悪い答えになっていないか。その判断基準は社会通念、日常の中にある。もし判断に迷うのなら、**「聞く耳を持って、人に相談した上で答えを出してみればよいのである。**
- 周囲の意見に流されて、たまたまその時うまくいっても、その成功が未来に通用する保証はない。**「自己決定力」による選択の経験の積み重ねが未来につながる。**

3学期が「通常運転」になりかかったところで、明日から3連休です。各自どのように過ごすのか。自己決定力が試される場面です。